

# ① 農業の振興

## 継続 世界農業遺産認定推進事業費

298万円

(前年度)

560万円

担当課 地方創生推進課

電話番号 74-8011

### 1. 本市の現状と課題

本市には、約400年の歴史がある「越中式定置網」をはじめとする伝統的な農林水産業や、それにより育まれてきた食文化、伝統文化等、先人から受け継がれてきた誇るべき地域資源が多く存在しています。そのため、これらの地域資源を活用しながら、社会環境などの変化に対応して次世代に継承していくことが必要となっています。

### 2. 平成31年度事業の内容

氷見農業遺産推進協議会が中心となり、前年度の審査結果を踏まえて、申請内容の検討や市民の気運の醸成を図るなど、次回の認定申請に向けた準備を行います。

### 3. 目標値または実施により求める効果

次世代に継承すべき地域資源の保全や活用が図られ、また、地域に住んでいる人々が地域に愛着と誇りを持って暮らすことができる環境が整備されます。それらの活用を図り、農林水産物のブランド化や観光の振興などにより地域経済の活性化を図ります。

(単位:万円)

財源	基金繰入金	290	経費内訳	負担金	298
	市の負担	8			



定置網

## 新規 とやまの園芸産地グレードアップ事業費補助金

588万円

(前年度)

—

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

### 1. 本市の現状と課題

氷見市は、水田率が88.7%であることから、稲作やハトムギ栽培など水田を中心に農業が行われてきました。また、ネギや稲積梅、ブルーベリー、リンゴ、ワインブドウなど、氷見の自然や地形を活かした園芸作物も生産されています。

### 2. 平成31年度事業の内容

園芸産地の育成を図り、経営複合化を目指す農業経営者のニーズに応えるため、苗木や必要な資材、機械等の整備を支援します。

### 3. 目標値または実施により求める効果

氷見市を代表する農産物の増産と販売拡大により、経営の安定や雇用の確保、耕作放棄地の減少を図ります。

(単位:万円)

財源	県の負担	392	経費内訳	補助及び交付金	588
	市の負担	196			



ワイン用ブドウの圃場

# ① 農業の振興

## 新規 1億円産地づくり加速化事業費補助金

234万円

(前年度)

—

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

### 1. 本市の現状と課題

氷見市は、県内でも有数の白ネギの産地として、富山県の「1億円産地づくり支援事業」を受け、氷見市農協や窪ねぎ出荷組合などが生産拡大に取り組んできました。

新たに県の広域産地形成品目となったタマネギの生産規模拡大を図り、1億円産地を目指します。

### 2. 平成31年度事業の内容

広域的にタマネギの生産拡大を図ることで、品質が高い農産品が安定供給できる産地づくりを推進するため市内でのタマネギの生産拡大に必要な機械・施設整備を支援します。

### 3. 目標値または実施により求める効果

氷見市の新たな農産物のブランドづくりと農業経営の安定を目指します。

(単位:万円)

財源	県の負担	156	経費内訳	補助及び交付金	234
	市の負担	78			



タマネギの掘取機

## 継続 中山間地域等直接支払事業費

7,314万円

(前年度)

6,959万円

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

### 1. 本市の現状と課題

中山間地域の水田は、区画が小さく不整形なこと、管理する畦はん面積が大きいことなど、営農条件が悪いことに加え、鳥獣害の被害対策が必要なことから、労働量やコストが大きく、耕作放棄地が増加しています。

中山間地域の農業生産を維持し、農地の持つ水源涵養機能などを保全する必要があります。

### 2. 平成31年度事業の内容

中山間地域における農地が持つ多面的機能の低下を防ぎ、農業生産を維持するため、集落協定に基づく水路の清掃や、農道の舗装、水路整備などの農業生産活動を支援します。

### 3. 目標値または実施により求める効果

農地や農村が持つ多面的機能が維持されます。


(単位:万円)


財源	県の負担	5,451	経費内訳	補助及び交付金	7,175
	市の負担	1,863		委託料	93
			その他	46	



中山間の棚田

# ① 農業の振興

<b>継続</b>	<b>地域一斉防除事業費</b>	<b>227万円</b>
		(前年度) 227万円
<b>担当課</b>	<b>農林畜産課</b>	<b>電話番号</b> 74-8086
<p><b>1. 本市の現状と課題</b></p> <p>近年は、ブランド米や特別栽培米など、品質の高い米が消費者から好まれる傾向にあり、米の産地間競争が激化しております。氷見市では、生産者と関係機関が一体となった生産管理により、4年連続うるち米の一等米比率が90%を超えております。</p> <p><b>2. 平成31年度事業の内容</b></p> <p>ひみ米ブランドの確立を推進するため、カメムシ類、いもち病等の発生を抑える氷見市全域での地域一斉共同防除活動を支援します。</p> <p><b>3. 目標値または実施により求める効果</b></p> <p>一等米の比率が高い、良質米の安定生産により、「売れる氷見米」、「美味しい氷見米」を作ります。</p>		
(単位: 万円)		
財源	市の負担 227	経費内訳 補助及び交付金 227
		 <p style="text-align: center;">一斉防除</p>

<b>継続</b>	<b>水田農業経営確立対策事業費</b>	<b>950万円</b>
		(前年度) 1,286万円
<b>担当課</b>	<b>農林畜産課</b>	<b>電話番号</b> 74-8086
<p><b>1. 本市の現状と課題</b></p> <p>氷見市の農地の9割近くは水田が占めておりますが、稲作を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化や担い手の不足、米価の低迷など、厳しい状況にあります。このため、米づくりだけでなくハトムギなども組み合わせた収益性の高い農業をこれからも推進する必要があります。</p> <p><b>2. 平成31年度事業の内容</b></p> <p>水田の持つ機能を最大限に活かすため「高品質で安全・安心な売れる美味しいひみ米づくり」をはじめハトムギや白ネギなどの地域振興作物の生産拡大と飼料作物等の生産を支援するとともに、水田農業に係る経営所得安定対策の円滑な実施に努めます。</p> <p><b>3. 目標値または実施により求める効果</b></p> <p>水田を活用した農業を推進することにより、農業経営の安定化と農村景観の保持を図るとともに、ハトムギなどの地域の特色ある農業を推進します。</p>		
(単位: 万円)		
財源	県の負担 950	経費内訳 補助及び交付金 950
		 <p style="text-align: center;">水田風景</p>

# ① 農業の振興

## 継続 人・農地プラン作成事業費

20万円

(前年度)

19万円

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

### 1. 本市の現状と課題

農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手の不足により厳しい状況にあるため、農業、農村を守るためには、これからの地域の農業の担い手や農業のあり方をまとめた「人・農地プラン」を地域の方々や関係機関により作成しました。

### 2. 平成31年度事業の内容

農業や地域の状況が変化するなか、地域で中心となる農業経営体や営農規模、農地の集約化などについて検討・調整を行い、地域の「人・農地プラン」の見直しをします。

### 3. 目標値または実施により求める効果

地域の農業のあり方などを共有し、地域の農業を守ります。



法人化による中心経営体の育成

(単位:万円)

財源	県の負担	10	経費内訳	消耗品費	16
	市の負担	10		燃料費	2
				通信運搬費	2

## 継続 多面的機能支払事業費

1億3,923万円

(前年度)

1億3,545万円

担当課 農林畜産課

電話番号 74-8086

### 1. 本市の現状と課題

農業・農村は、国土保全、水源涵養、良好な景観の形成などの多面的な機能を持っております。しかし、近年は、離農者や人口減少、高齢化などにより、地域の共同作業によって支えられてきた農業・農村の機能に支障が生じつつあります。

### 2. 平成31年度事業の内容

農業の持続的な発展と農村が持つ多面的機能を発揮するため、地域共同による農地・農業用水などの基礎的な保全活動や老朽化が進む農業用排水路などの長寿命化のための補修・更新などの取り組みを支援します。

### 3. 目標値または実施により求める効果

農地や農村が持つ多面的機能が維持されます。



水路の保全活動

(単位:万円)

財源	県の負担	10,455	経費内訳	補助及び交付金	13,873
	市の負担	3,468		消耗品費	26
				その他	24

# ① 農業の振興

<b>継続</b>	<b>環境保全型農業直接支払事業費</b>	<b>448万円</b>
		(前年度) 429万円
<b>担当課</b>	<b>農林畜産課</b>	<b>電話番号 74-8086</b>


**1. 本市の現状と課題**  
農業分野においても、地球温暖化防止や生物多様性の保全など環境保全に配慮した営農活動の推進が求められています。

**2. 平成31年度事業の内容**  
エコファーマーの認定を受けている農業者や集落営農組織などが、化学肥料と化学合成農薬の5割以上の低減と、冬期湛水など環境保全に効果のある活動を合わせて行った場合に支援をします。

**3. 目標値または実施により求める効果**  
農業生産活動を行いながら環境の改善にも取り組むことで、豊かな自然に恵まれた地域をつくります。

(単位: 万円)

財源	県の負担	338	経費内訳	補助及び交付金	438
	市の負担	110		通信運搬費	4
			その他	6	



堆肥の散布

<b>継続</b>	<b>国営・附帯県営かんがい排水事業維持管理費補助金</b>	<b>1,646万円</b>
		(前年度) 1,514万円
<b>担当課</b>	<b>ふるさと整備課</b>	<b>電話番号 30-7071</b>


**1. 本市の現状と課題**  
国営総合かんがい排水事業で造成された施設の機能保全と長寿命化を図りながら、適切に維持管理していくことが必要です。

**2. 平成31年度事業の内容**  
五位ダム、桑院ダム、導水路、余川川頭首工を適切に管理するための体制整備・強化を行います。

**3. 目標値または実施により求める効果**  
農業・農村の発展と農業経営の継続性の確立を図ります。

(単位: 万円)

財源	市の負担	1,646	経費内訳	補助及び交付金	1,646



五位ダム

# ① 農業の振興

継続 県営ほ場整備事業費負担金

2,640万円

(前年度)

1,980万円

担当課 ふるさと整備課

電話番号 30-7011

## 1. 本市の現状と課題

用排水路や暗渠排水等の老朽化や小区画ほ場による効率の悪さなど、営農活動に支障を来す現状から、農業生産基盤整備による生産性と営農効率の維持向上、担い手の育成等、効率的かつ安定的に農業生産を担う構造を確立する必要があります。

## 2. 平成31年度事業の内容

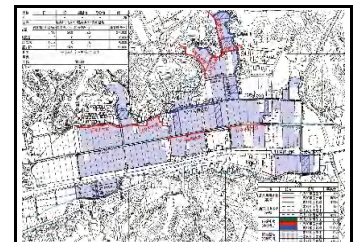
城飯久保地区(継続)、下田子・上泉地区(継続)、北八代地区(継続)のほ場整備を行います。

## 3. 目標値または実施により求める効果

農地の大区画化、担い手の育成・確保を通じて、土地利用型農業のコスト低減、経営体質強化を図ります。


(単位:万円)


財源	市債	2,400	経費内訳	負担金	2,640
	市の負担	240			



ほ場整備(イメージ図)

## ② 林業の振興

継続	森林組合育成強化事業費	181万円			
		(前年度) 130万円			
担当課 農林畜産課		電話番号 74-8097			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
富山県西部森林組合は、県西部唯一の森林組合であり、木材価格の低迷等により森林所有者や民間事業者による適切な森林整備が行われない中、森林施業の集約化を図り、生産性向上・低コスト化に取り組みながら市内一円で森林整備を行っています。今後もより一層の生産性の向上、低コスト化を図っていく必要があります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
高性能林業機械の導入や担い手対策に支援し、森林組合の基盤強化を図ります。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
森林組合の基盤強化が図られるとともに、生産性向上や低コストにより森林整備が進められることにより、森林の持つ公益的機能の維持増進のほか、林業の成長産業化を図ります。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	181	経費内訳	負担金	136
				補助及び交付金	45
					
			高性能林業機械フォワーダ		

継続	流域森林総合整備事業費	136万円			
		(前年度) 147万円			
担当課 農林畜産課		電話番号 74-8097			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
木材価格の低迷などにより、林家の造林意欲が低く、下刈など造林作業が行われていない森林が多くあります。そのため、総合的かつ効率的な造林事業を推進していく必要があります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
富山県西部森林組合が行う再造林、下刈、枝打ち、侵入竹林除去等の森林施業に対し補助します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
造林、下刈、枝打ち、侵入竹林除去等の森林施業の支援により、林業生産基盤の整備と林家の造林意欲の向上を図り、適切な森林施業により、森林の公益的機能を保全します。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	136	経費内訳	補助及び交付金	136
					
			冬季の枝打ち		

## ② 林業の振興

継続	森林整備地域活動支援事業費		482万円		
			(前年度) 428万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8097		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
本市の人工林は、戦後の拡大造林で植林され、その多くは伐採期を迎えているものの、木材価格の低迷などから、必要な手入れがされていないものが多くあります。そのため、計画的な森林整備を行う必要があります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
森林整備と資源の活用を推進するため、森林を集約化し、効率的な森林施業や路網整備を実施する森林経営計画の作成を支援します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
適切な森林施業により、森林の公益的機能を保全します。					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	363	経費内訳	補助及び交付金	474
	市の負担	119		消耗品費	6
				燃料費	2



継続	氷見産材活用促進事業費		90万円		
			(前年度) 90万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8097		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
市内の森林の人工林の多くは伐採期を迎えており、市内において木材の利活用推進を図っていく必要があります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
市内において住宅等の新築や増改築する際に、木造化や木造内装化への氷見産木材の使用に対し、その経費の一部に助成するほか、薪ストーブやペレットストーブの設置経費の一部を補助します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
木質バイオマスの活用により、地球温暖化対策を推進するとともに、伐採期を迎えた森林資源の有効活用により森林整備を促進し、森林の保全と公益的機能の維持を図ります。					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	90	経費内訳	補助及び交付金	90





## ② 林業の振興

継続	高齡級人工林機能強化事業費	<b>425万円</b>			
		(前年度)	425万円		
担当課 農林畜産課		電話番号 74-8097			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
13齡級以上の人工林を主伐する際、低質材を林内に放置すると、その後の植栽に支障を及ぼすほか、豪雨時に林外へ流出することによる災害の恐れがあります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
13齡級以上の人工林を主伐する際、低質材(C材以下)を林内から林道の縁まで集材する経費の一部を支援します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
低質材が林内に取り残されることがなくなり、災害の防止が図られるとともに伐採後の新たな植栽が容易となり、高齡級の伐採が促進され、伐採後の植栽、保育など森林の循環を促し森林の保全を図ります。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	212	経費内訳	補助及び交付金	425
	市の負担	213			




集材された低質材


拡充	水と緑の森づくり事業費	<b>2,344万円</b>			
		(前年度)	2,080万円		
担当課 農林畜産課		電話番号 74-8097			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
私たちの身近にある里山をはじめとした森林は、さまざまな恩恵をもたらす貴重な財産です。これを森林所有者のみならず県民全体で守り育てて行くため創設された「水と緑の森づくり税」を活用した取り組みを推進します。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
放置竹林や広葉樹の整備のほか、生活に密着した里山などを地域住民によって整備する活動への支援や、優良無花粉スギの植林などを行います。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
里山の整備や地域住民による里山整備活動を支援することで、市民が緑に親しみ、森への愛着を高めるとともに、森林の持つ公益的機能を高めます。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	2,344	経費内訳	委託料	2,148
				補助及び交付金	180
				その他	16



竹林の伐採整備作業

## ② 林業の振興

継続	竹対策事業費		224万円		
			(前年度) 249万円		
担当課		農林畜産課	電話番号 74-8097		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
本市は、県内で最大の竹林面積を有し、管理のされていない放置竹林や杉林への侵入竹林の拡大が課題となっています。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
富山県西部森林組合が、放置竹林や人工林へ侵入する竹を、除草剤により竹の根まで枯らし林種転換を図る竹林の整備に補助します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
この整備により、竹を根まで枯らし、再生竹や竹林の拡大を防ぎ、適切な里山へ林種転換を促します。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	224	経費内訳	補助及び交付金	224
					
放置された竹林					


継続	県単林道改良事業費		1,501万円		
			(前年度) 2,101万円		
担当課		ふるさと整備課	電話番号 30-7011		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
林道118路線については、規模の大きな災害箇所があれば、災害復旧事業により対応していますが、災害に該当しない小規模な法面崩壊や路肩欠損も存在するため、予防保全の観点から、本事業により小規模な災害箇所の復旧を進める必要があります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
氷北線や三千坊線ほか1路線について、路肩補修や法面復旧を行います。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
被災箇所の復旧により車両通行の安全を確保するとともに、林業生産の向上を図ります。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	750	経費内訳	工事請負費	1,501
	市債	740			
	市の負担	11			
					
林道の路肩補修					


## ② 林業の振興

<b>拡充</b>	<b>木育推進事業費</b>	<b>2,560万円</b>			
		(前年度) 656万円			
<b>担当課 花みどり推進室</b>		<b>電話番号 91-7117</b>			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>木育は木を切り口として氷見市の資源である「自然」を好きな人を育てる取り組みで、子育て環境の充実や郷土愛の育成、そして林業の振興を目指すものです。この取り組みによる効果を持続可能なものとするため木育の拠点及び推進組織を設立することが課題となっています。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>氷見市海浜植物園に木育の拠点場所を整備し、その場を運営する木育推進組織を構築するため、従来からの「誕生祝い品事業」や「木育キャラバン」の開催に加え、地域産材の高付加価値化試行実験や、組織を運営するための外部人材招聘などを実施してまいります。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>氷見市海浜植物園に木育拠点を整備する他、自然体験プログラムや氷見産材を使った商品開発、販売機能をもった木育推進組織の構築を目指します。</p>					
(単位:万円)					
<b>財源</b>	国の負担	1,125	<b>経費内訳</b>	補助及び交付金	1,333
	基金繰入金	1,430		委託料	968
	市の負担	5		その他	259



### ③ 水産業の振興

継続	漁村活性化推進事業費		27万円		
			(前年度)	30万円	
担当課		水産振興課	電話番号 74-8102		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>定置網漁の実習や見学により、漁業後継者の育成を図るとともに、氷見の漁業や海の魅力に理解を深めていただくことで、「魚のまち」氷見への愛着を深め、漁村地域の活性化を図ります。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>後継者育成漁業体験教室(高校生)や小・中学校定置網見学を実施します。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>漁業後継者の育成を図り、漁村地域の活性化を図ります。</p> <p>氷見の漁業の理解を深め、「魚のまち」氷見への愛着を深めます。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	27	経費内訳	委託料	18
					使用料及び賃借料
				 <p>漁業者と魚の選別を行う様子</p>	

継続	海の種づくり推進事業費		15万円		
			(前年度)	15万円	
担当課		水産振興課	電話番号 74-8102		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>氷見の漁獲量は年間14,000トン前後で推移しており、今後も漁獲量を確保するため、安定的な海の資源管理が求められています。地先で育つ種苗を継続的に放流することで、資源量の減少を回避し、海域の漁獲量の維持・向上を図ります。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>クルマエビの種苗を放流します。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>海洋資源の維持増大を図るとともに、種苗が育つ生息場の藻場を管理・改善を行います。</p>					
(単位:万円)					
財源	市の負担	15	経費内訳	消耗品費	15
				 <p>稚エビの放流の様子</p>	

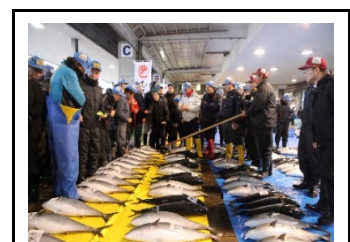
### ③ 水産業の振興

継続	水産多面的機能発揮対策事業費		202万円		
			(前年度) 202万円		
担当課 水産振興課		電話番号 74-8102			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>水産業、漁村は古くから、安全で新鮮な水産物を安定期に提供する役割に加え、国境警備・海難救助による生命・財産の保全、保健休養、交流、教育の場の提供など、多面的機能を持っています。このため、氷見市沿岸の地域資源の維持・回復、漁村文化の景勝を図る取組みを進めていきます。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>岩盤清掃や流域における植林などによる藻場の保全、種苗放流(ヒラメ、クロダイ)、漂流・漂着物、堆積物の処理、海難救助訓練などを行います。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>水産業の再生、漁村の活性化を図ります。</p>					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	35	経費内訳	負担金	167
	市の負担	167		賃金	17
				その他	18



漂流・漂着物の除去

新規	浜の活性化推進事業費		600万円		
			(前年度) —		
担当課 水産振興課		電話番号 74-8102			
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>主要魚種の漁獲量減少や魚価の低迷、また就業者の減少・高齢化等の水産業の課題に対処するために、新しい発想や取組みを考えていく必要があります。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>全国事例の紹介や、氷見での可能性を氷見以外の人の視点により、気づきを得ることができるシンポジウムを開催し、それを受けて、有効な活用事例について、氷見での導入の可能性について具体的に調査し検討します。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>氷見の水産業の活性化のために、新しい発想や取組みを考える機会を提供します。</p>					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	600	経費内訳	委託料	581
				旅費	19



活気ある魚市場

### ③ 水産業の振興

継続	漁港関連施設管理事業費	1,847万円			
		(前年度)	1,622万円		
担当課 水産振興課		電話番号	30-7055		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>市内には、県営漁港の氷見漁港をはじめ、阿尾、藪田、宇波、大境、女良の5つの市営漁港があります。漁港と漁港区域には環境緑地や公園が設けられており、適正な管理が必要です。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>漁港や漁港海岸の樹木や芝生の管理、照明設備やトイレの管理を行います。また、漁港施設の補修工事や修繕も行っています。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>漁業者が安全に使用できるよう努めていくほか、施設を利用される方が心地よく使えるよう適切な管理を行います。</p>					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	611	経費内訳	委託料	973
	使用料等	95		工事請負費	396
	市の負担	1,141		その他	478



藪田漁港海岸

拡充	水産物供給基盤機能保全事業費	5,250万円			
		(前年度)	5,250万円		
担当課 水産振興課		電話番号	30-7055		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>市営漁港の多くは、年々老朽化しており、堤防に陥没が発生したり、漁港内部に土砂が堆積した結果、漁船の運航に支障を来しています。そのため、国県の補助金を活用し、施設の補修などの長寿命化を図っていく必要があります。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>藪田漁港(泊地区)において、港内のしゅんせつ工事及び物揚場の矢板防食工事を行います。藪田漁港(藪田地区)においては、堤防補修測量設計を実施します。女良漁港においては、港内のしゅんせつ工事及び堤防補修測量設計を行います。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>漁港ごとの機能保全計画に基づき、適切な時期に、適切な補修を実施することにより、漁港施設の長寿命化と更新コストの平準化・縮減を図ります。</p>					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	3,750	経費内訳	工事請負費	4,000
	市債など	1,495		委託料	1,000
	市の負担	5		その他	250



藪田漁港(泊地区)

## ④ 地域産業・中小企業の支援

拡充	大学連携推進事業費	<b>2,025万円</b>			
		(前年度)	400万円		
担当課 地方創生推進課		電話番号	74-8011		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>社会環境の変化が早く、それに伴う地域課題が複雑化・高度化しているなか、地域特性があり、早期に対応が求められている課題については、専門性などを有している大学などとの連携協力により、高度な取り組みが必要となっています。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>氷見市・名城大学農学部連携協議会を中心に、産学官の連携による農林水産業の振興、氷見高等学校と連携した研究・教育の活性化、生涯学習の推進、市民と名城大学農学部の学生との交流の促進などの取り組みを実施します。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>協定等を締結した大学との取り組みをより強化、深化させ、地方創生のモデルとなるような取り組みに発展させて地域課題を解決します。</p>					
(単位: 万円)					
財源	国の負担	996	経費内訳	工事請負費	1,092
	市債等	1,020		委託料	786
	市の負担	9		その他	147



拡充	ふるさと納税推進事業費	<b>1億3,300万円</b>			
		(前年度)	9,972万円		
担当課 商工観光課		電話番号	74-8105		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>導入から12年目を迎えるふるさと納税制度は全国的にその活用が広がり、本市でも順調に寄附金額を伸ばしています。今後は、国が定めた特産品等の取り扱い基準を守りながら、継続して氷見市の魅力をPRするための情報発信を強化する必要があります。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>ふるさと納税を通じて氷見の魅力をPRするため、返礼品をさらに充実させるとともに、ふるさと納税寄附窓口となるポータルサイト内の情報を充実いたします。また、これまで寄附いただいた方に氷見市ファンとして定着いただき、引き続きご寄附をお寄せいただけるように、メールなどによる情報発信に努めます。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>寄附金額として2億5千万円を目指し、「豊かな自然・美しい景観の保全」や「観光・地域産業の振興」、「子どもたちの教育環境の充実」などに取り組みます。</p>					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	13,300	経費内訳	消耗品費	9,120
				役務費	4,059
				その他	121



## ④ 地域産業・中小企業の支援

継続 小口事業資金あつ旋融資事業費

5億1,485万円

(前年度) 5億1,498万円

担当課 商工観光課

電話番号 74-8105

### 1. 本市の現状と課題

市内の中小企業は地域の重要な雇用の場であるとともに、生産活動やサービスの提供を通して豊かな市民生活の実現に貢献していることから、その経営基盤の強化に向けた取り組みを進める必要があります。

### 2. 平成31年度事業の内容

金融機関等と連携して各種融資制度を実施し、市内中小企業の経営基盤の強化を促進します。  
また、融資に係る保証料の一部を助成します。

### 3. 目標値または実施により求める効果

市内中小企業の経営基盤を強化します。

(単位:万円)

財源	雑入	51,255	経費内訳	貸付金	51,200
	市の負担	230		補助及び交付金	285



制度融資

継続 小規模企業団地運営事業費

174万円

(前年度) 175万円

担当課 商工観光課

電話番号 74-8105

### 1. 本市の現状と課題

地域の中小企業の活性化を図るためには、地域資源を有効に活用した地域内発型産業の創業を支援する必要があります。

### 2. 平成31年度事業の内容

創業希望者を支援するため、安い賃借料で事業スペース(ベンチャースペース氷見)を提供し、創業等に必要  
な初期投資の軽減を図ります。

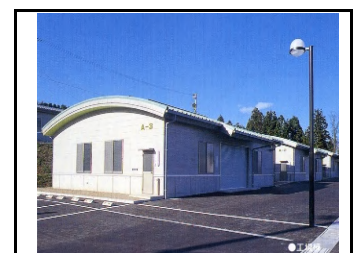
### 3. 目標値または実施により求める効果

入居者の維持・向上を図ります。

- ・事務所棟 4件
- ・工場棟 12件

(単位:万円)

財源	使用料	174	経費内訳	工事請負費	48
				光熱水費	38
				その他	88



ベンチャースペース氷見



## ④ 地域産業・中小企業の支援


継続	中小企業振興資金融資事業費	1億6,618万円			
		(前年度)	1億6,699万円		
担当課 商工観光課		電話番号	74-8105		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
市内の中小企業は地域の重要な雇用の場であるとともに、生産活動やサービスの提供を通して豊かな市民生活の実現に貢献していることから、その経営基盤の強化に向けた取り組みを進める必要があります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
金融機関等と連携して各種融資制度を実施し、市内中小企業の経営基盤の強化を促進します。 また、融資に係る保証料を助成します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
市内中小企業の経営基盤を強化します。					
(単位:万円)					
財源	雑入	16,521	経費内訳	貸付金	16,500
	市の負担	97		補助及び交付金	118




継続	創業支援事業費	1,510万円			
		(前年度)	1,612万円		
担当課 商工観光課		電話番号	74-8105		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
商業統計によると、平成6年の市内の小売業の商店数は931件でしたが、平成26年には447件となり、20年の間に半分以下になりました。市内商工業の振興を図るには、小売業などの事業者数を増やす必要があります。					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
氷見商工会議所が実施する創業サポート窓口や創業塾などの創業支援事業に要する経費の一部を助成します。また、創業時の設備資金及び情報発信に要する経費の一部を助成します。					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
創業サポート窓口を気軽に利用できる体制を整え、創業相談者数40名を目標に取り組みます。 また、創業塾を開催し、創業者数10名を目指します。					
(単位:万円)					
財源	基金繰入金	1,000	経費内訳	補助及び交付金	1,500
	市の負担	510		負担金	10



## ④ 地域産業・中小企業の支援

継続	地域内経済循環促進事業費	380万円
		(前年度) 778万円
担当課	商工観光課	電話番号 74-8105
<b>1. 本市の現状と課題</b> 氷見商工会議所が実施している消費喚起事業「買活！ひみ6億円プロジェクト」で実施したアンケート結果では、市内での消費意識が向上しています。しかし、依然として、市外での支出(消費)金額が多い状況であり、市内の中小企業の振興を図るためには、域内経済循環率を高める必要があります。		
<b>2. 平成31年度事業の内容</b> 市内での消費を拡大させ市内経済循環率を高めるために、氷見商工会議所が取り組む地域商品券「ひみキトキト商品券」事業の経費の一部を助成します。		
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b> 地域商品券利用による域内消費の促進により域内経済循環率を高めます。		
(単位:万円)		
財源	市の負担 380	経費内訳 補助及び交付金 380
		 ひみキトキト商品券(イメージ)

新規	プレミアム付商品券事業費	7,529万円
		(前年度) —
担当課	商工観光課	電話番号 74-8105
<b>1. 本市の現状と課題</b> 消費税・地方消費税率引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響が懸念されています。		
<b>2. 平成31年度事業の内容</b> 地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券を発行・販売します。上限20,000円分の商品券購入に対して5,000円分の商品券を給付します。		
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b> 給付対象者は8,500人を見込んでいます。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・扶養外住民税非課税者 7,740人</li> <li>・三歳未満児子育て世帯主 760人</li> </ul>		
(単位:万円)		
財源	国の負担 7,529	経費内訳 補助及び交付金 4,250 委託料 1,975 その他 1,304
		 プレミアム付商品券(イメージ)

## ⑤ 中心市街地の活性化

継続	氷見市まちづくりバンク事業費		89万円		
			(前年度) 159万円		
担当課	地域振興課	電話番号	74-8075		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>本市では、人口減少問題に対応するため、氷見市人口ビジョンを策定して氷見市に移住される方（Iターン者、Jターン者）を新たに呼び込むことを重点に移住定住の促進に取り組んでいます。そのための拠点として中心市街地に位置する「氷見市まちづくりバンク」を有効活用していきます。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>氷見市IJU応援センターの事務所として活用し、移住相談窓口業務等を実施します。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>中心市街地にある立地の良さを生かし、より多くの移住希望者に当センターを訪れていただくことで氷見市の暮らし方の魅力を伝え移住につなげていきます。</p>					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	89	経費内訳	使用料及び賃借料	71
				委託料	13
				その他	5



拡充	まちなか活性化事業費		4,238万円		
			(前年度) 95万円		
担当課	商工観光課	電話番号	74-8105		
<b>1. 本市の現状と課題</b>					
<p>中心市街地では、ひみ番屋街に多くの観光客が訪れているものの、中心市街地への流入が少ない状況です。また、高齢化や後継者不足により廃業や空き店舗が増加し、商店街では閉店した店舗や老朽化した家屋の取り壊しによる空き地が目立ち、商店街活動が衰退しています。</p>					
<b>2. 平成31年度事業の内容</b>					
<p>エリアマネージャーを設置し、来訪者をまちなかへ誘導するための賑わい創出事業や、空き店舗への新規出店者の誘致活動を行います。また、ビジネスサポートセンターを設置し、既存事業者に対する売上向上を図るためのアドバイスや、創業希望者に対する支援を通じて、地域経済の活性化に取り組めます。</p>					
<b>3. 目標値または実施により求める効果</b>					
<p>まちなか新規出店者数は1件、中心市街地商店街の歩行者数は100人増加を目指します。</p>					
(単位: 万円)					
財源	国の負担	2,119	経費内訳	委託料	4,238
	基金繰入金	1,300			
	市の負担	819			

